

# オフィスまるごとサポートデバイスマネジメント DEP サーバートークン年次更新マニュアル

最終更新日 2018 年 9 月 14 日

株式会社オプティム

(c)東日本電信電話株式会社

## はじめに

### 本マニュアルの目的

本マニュアルでは、DEP サーバートークンの年次更新の操作について説明しています。

- 🔧 Device Enrollment Program (Apple Deployment Program) ではなく、Apple Business Manager をご利用の場合でも、オフィスまるごとサポートデバイスマネジメント側の操作方法は変わりません。Device Enrollment Program 側の操作が、Apple Business Manager での操作となります。Apple Business Manager の操作方法については、以下を参照してください。

🔗 <https://help.apple.com/businessmanager/?lang=ja>

管理サイト側の基本操作や、各設定項目の詳細については、以下を参照してください。

🔗 『管理サイト リファレンス マニュアル』

### 本マニュアルの見かた

本マニュアルの説明で使用する記号やマークの意味、マニュアルで使用している画面の種類や注意事項は以下のとおりです。

#### ◆ 記号・マークについて

マニュアルで使用しているマークや記号は以下のとおりです。

記号・マーク	説明
[ ]	メニュー名、ボタン名、リンク名を表します。
「 」	タブ名や機能名、項目名、マニュアル内の参照先など、強調したい名称を表します。
『 』	参照先のマニュアルを表します。
⇒	操作の結果を表します。
🔗	マニュアルや見出しの参照先を記載します。
🔧	注意すべきことについて説明しています。
📝	運用や操作のポイントや、知っておくと便利なことについて説明しています。
<div>表示操作</div>	画面説明において、該当の画面を表示するためのメニュー操作を記載します。 <div>表示操作</div> [設定] → [iOS] → [アプリケーション] → [アプリケーション配信] → ➕

#### ◆ 画面について

- 本マニュアルはユーザー種別が「管理者」用です。ユーザー種別「管理者」以外で管理サイトにログインした場合は、ユーザー種別に応じて編集や閲覧に制限がかかります。詳細は、以下を参照してください。  
🔗 『管理サイト リファレンス マニュアル』の「ユーザー」
- 画面上のバージョン表記は実際のものとは異なる場合があります。
- Windows の OS バージョンや、ご使用になるブラウザによって、一部の画面や操作が異なる場合があります。本マニュアルでは、Google Chrome で表示した画面を使用して説明しています。

### Web サイトの URL について

マニュアルの説明で記載している弊社以外の Web サイトの URL は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

## 商標について

---

- iPhone、iPad は、Apple Inc.の商標です。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- 記載の会社名および製品名は、各社の登録商標および商標です。

## 目次

<b>1 DEP サーバートークンの更新 .....</b>	<b>5</b>
1.1 DEP サーバートークンの年次更新 .....	6
1.2 サーバートークンの有効期限の確認 .....	7
1.3 サーバートークンの更新手順 .....	8
1.3.1 オフィスまるごとサポートデバイスマネジメントにアクセス .....	8
1.3.2 Apple Deployment Program からダウンロード .....	9
1.3.3 オフィスまるごとサポートデバイスマネジメントへのアップロード .....	14

# 1 DEP サーバートークンの更新

DEP サーバートークンファイルの更新方法について説明します。

項目	ページ
<a href="#">DEP サーバートークンの年次更新</a>	<a href="#">6</a>
<a href="#">サーバートークンの有効期限の確認</a>	<a href="#">7</a>
<a href="#">サーバートークンの更新手順</a>	<a href="#">8</a>

## 1.1 DEP サーバートークンの年次更新

---

### ◆機能目的

Apple 社の提供する「Device Enrollment Program」の証明書は、1 年に 1 度更新する必要があります。  
証明書の有効期限が切れてしまうと、デバイスの自動構成（DEP 機能）を利用できなくなります。

DEP サーバートークンの有効期限が 60 日前になると、オフィスまるごとサポートデバイスマネジメントのダッシュボード上で日時を赤字で協調した表示に切り替わります。DEP サーバートークンの更新が必要な時期の合図となりますので、以下の手順に従い更新作業を行ってください。管理サイトを構成する各画面と機能の概要について説明します。

### ◆手順

- DEP サイトからサーバートークンをダウンロードし、保存する
- 管理サイトにアップロードする
  - 📌登録作業と同じになります

### ◆注意事項

DEP トークンの有効期限が切れると、以下のような影響が起こりますのでご注意ください。

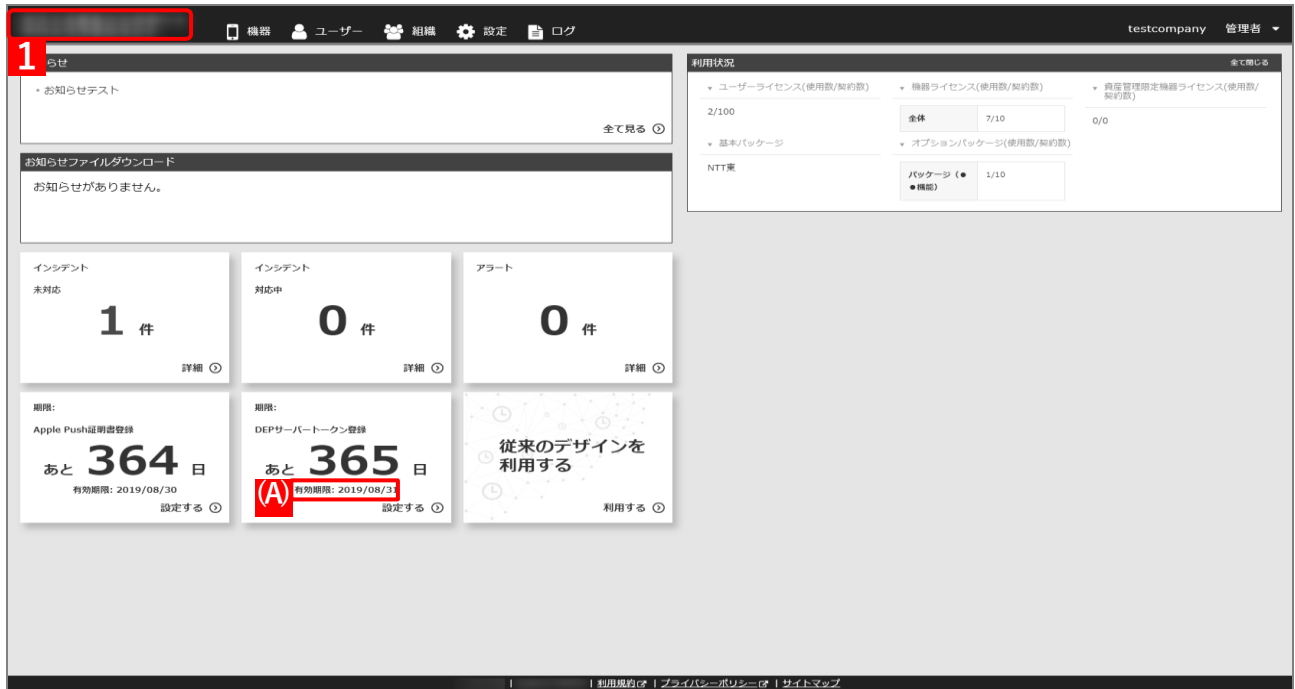
- デバイスの自動構成（DEP 機能）を利用できなくなります
- 機器の登録や再登録ができなくなります

## 1.2 サーバートークンの有効期限の確認

有効期限は、以下の2つの手順で確認できます。(A)「有効期限」が切れないようご注意ください。

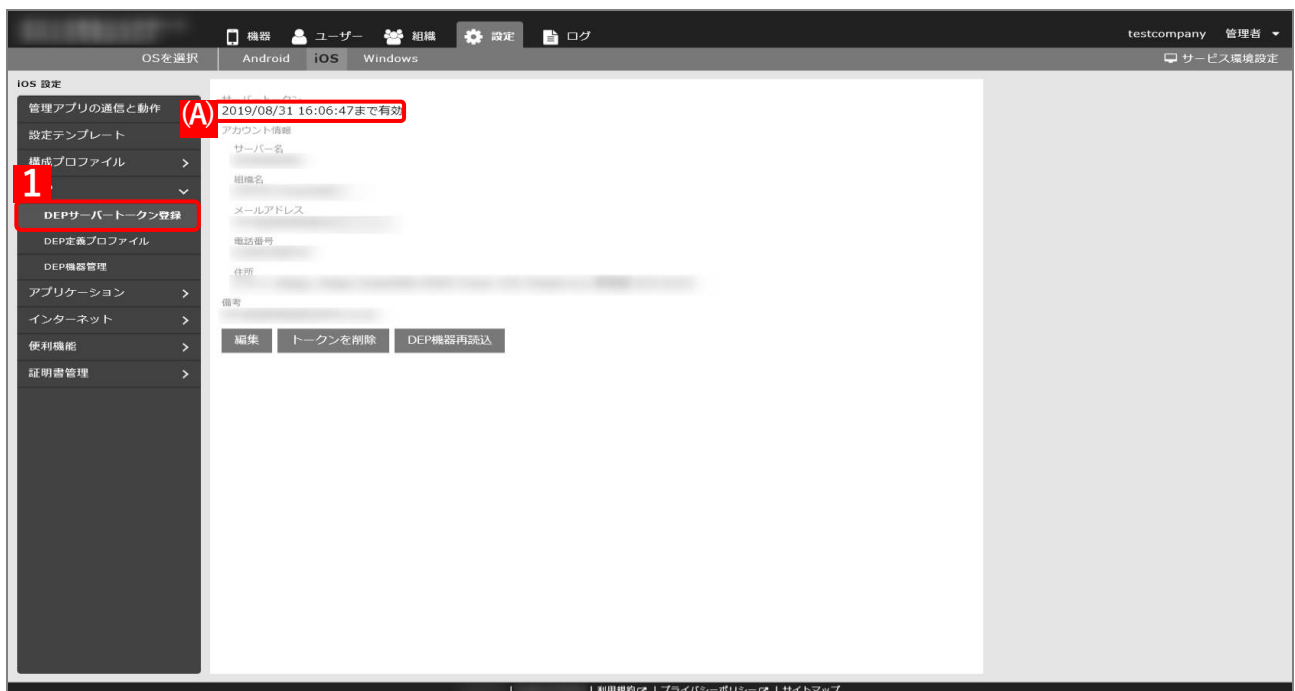
### ダッシュボードで確認

- 【1】「オフィスまるごとサポートデバイスマネジメント」をクリックします。



### DEP サーバートークン登録の画面で確認

- 【1】「設定」→「iOS」→「DEP」→「DEP サーバートークン登録」をクリックします。



## 1.3 サーバートークンの更新手順

DEP サーバートークンの更新は、以下の場合に行う必要があります。

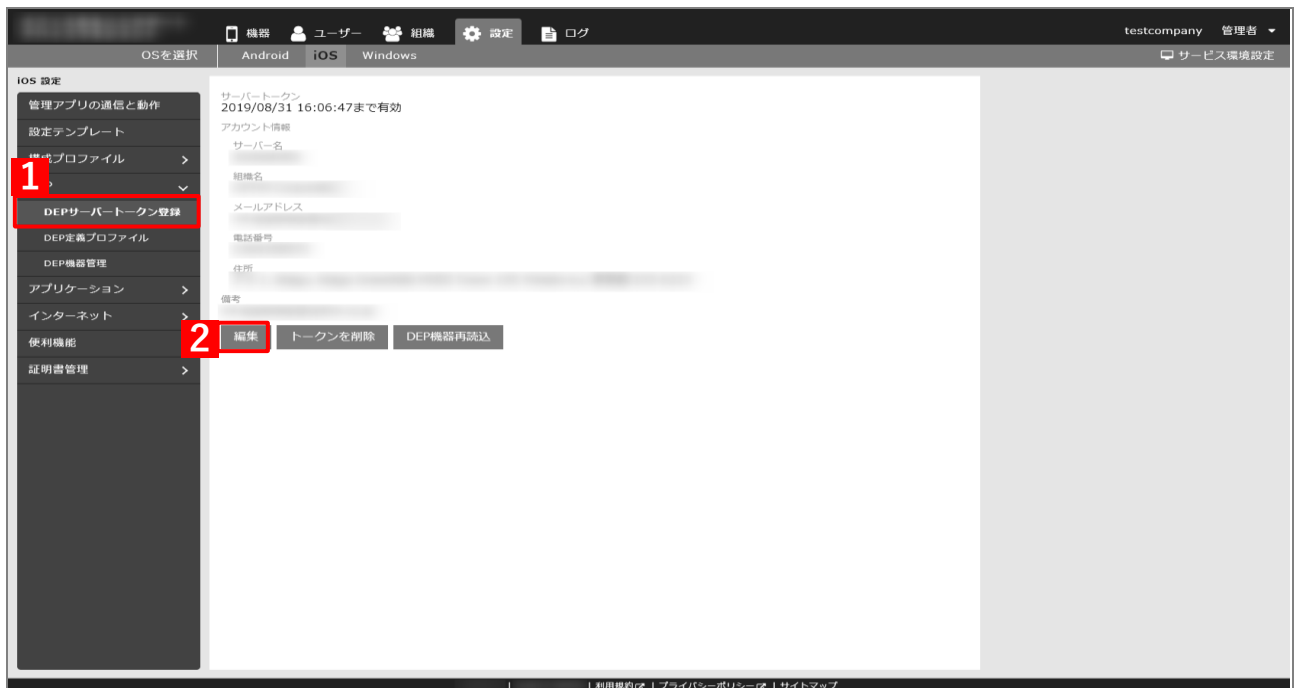
- DEP サーバートークンの有効期限が切れる前  
サーバートークンの有効期限が切れた場合は、DEP サーバーの機能を利用できないため、機器の登録や再登録ができなくなります。有効期限になる前にサーバートークンを更新してください。
  - Apple Deployment Program のサイトまたは Apple Business Manager にログインするためのパスワードを「My Apple ID」(<https://appleid.apple.com/>) のサイトから変更した場合  
パスワードを変更した場合は DEP サーバーとの同期が失敗しますので、DEP サーバートークンを更新する必要があります。
- ❑ サーバートークンの有効期限が切れた場合は、新しいトークンを登録するまで、DEP サーバーの機能を利用できないため、機器の登録や再登録ができなくなります。
- ❑ DEP サーバートークンの Apple Deployment Program のサイトでダウンロードを実施後、取得した DEP サーバートークンを管理サイトにすぐにアップロードしないで、長時間経過すると DEP サーバーと通信が行えなくなることがあります。トークンのダウンロードは必要時に実施していただき、その DEP サーバーのトークンをご利用いただくようお願いいたします。
- ❑ トークンファイルの発行のときに使用した Apple ID は、大切に保管してください。トークンの更新（1 年に 1 回）のときに必要となります。

### 1.3.1 オフィスまるごとサポートデバイスマネジメントにアクセス

【1】 [設定] → [iOS] → [DEP] → [DEP サーバートークン登録] をクリックします。

【2】 [編集] をクリックします。

⇒ 編集画面が表示されます。



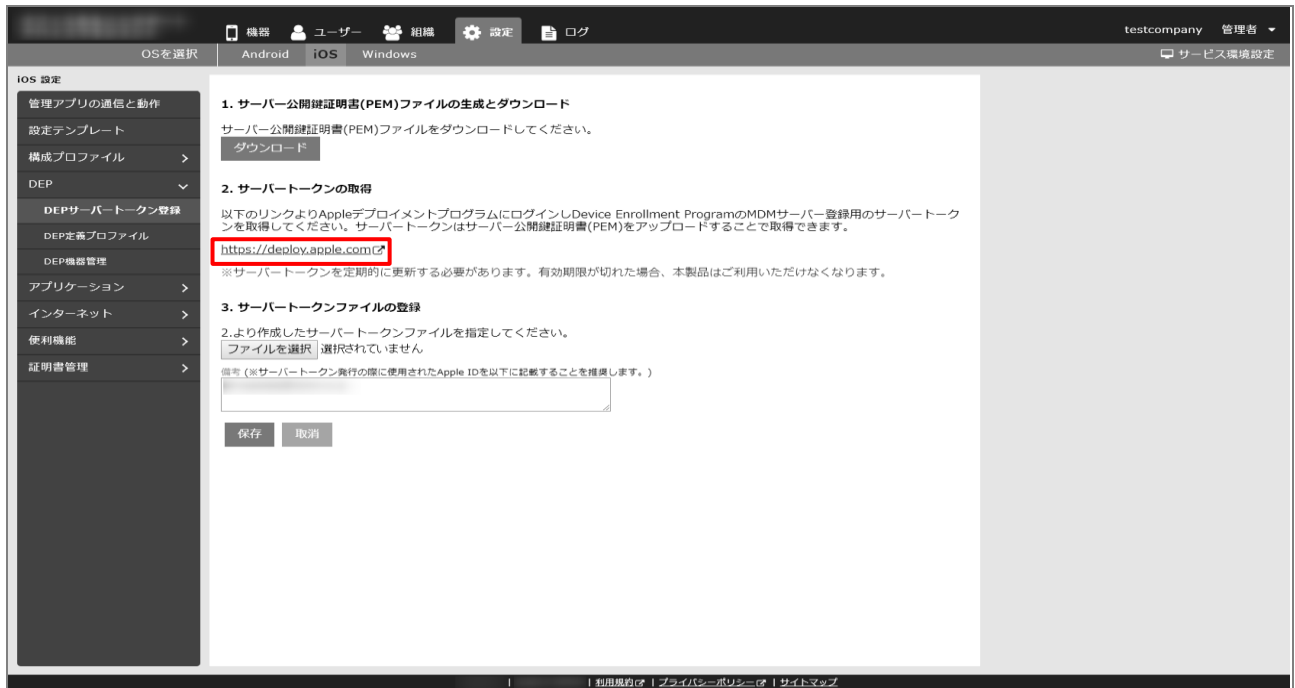


**【3】 「Device Enrollment Program:」 の URL をクリックします。**

⇒ Apple Deployment Program のサイトに移動します。

**【4】** Device Enrollment Program (Apple Deployment Program) ではなく、Apple Business Manager をご利用の場合は、手順が異なります。詳細は、以下を参照してください。

<https://help.apple.com/businessmanager/?lang=ja>



### 1.3.2 Apple Deployment Program からダウンロード

**【4】 Apple から申請承認済みの Apple ID とパスワードを入力します。**

**【5】 [サインイン] をクリックします。**

⇒ 本人確認のための確認画面が表示されます。



【6】信頼できるデバイスを選択します。

【7】「続ける」をクリックします。

⇒ 確認コードの入力画面が表示されます。

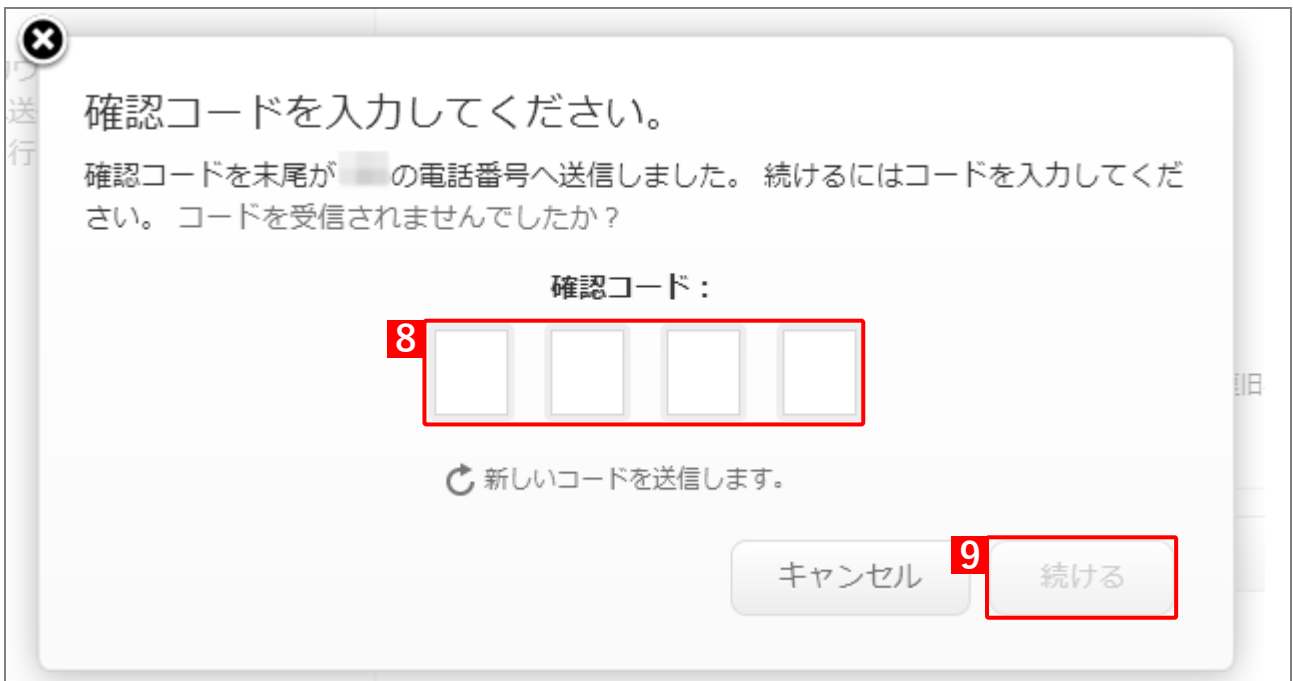
✎ 4桁の確認コードは、Apple ID のメールアドレスに送信されます。



【8】確認コードを入力します。

【9】「続ける」をクリックします。

⇒ 「Device Enrollment Program」の設定、「Volume Purchase Program」の設定を選ぶ画面が表示されます。



【10】 「Device Enrollment Program」 の 「さあ、はじめよう」 をクリックします。



【11】 「Device Enrollment Program」 → 「サーバーの管理」 をクリックします。

【12】 編集するサーバーの名前を選択します。

⇒ 「サーバ詳細」 画面が表示されます。



【13】「新規トークンを作成」をクリックします。

⇒「新規サーバートークンを作成」画面が表示されます。

## サーバ詳細

---

サーバ名  



名称を変更...

---

パブリックキー:  



キーを置き換える...

---

サーバトークン:  

 作成日: 2018/3/22


新規トークンを作成...

---

サーバを削除

OK

【14】「サーバトークン」をクリックして、サーバトークンのファイルをダウンロードします。


 ダウンロードしたファイルは、手順【18】で選択します。

【15】ダウンロードが完了したら「完了」をクリックします。

## 新規サーバトークンを作成

---

14

 サーバトークン

新規トークンの作成とダウンロードが完了したら、この新規トークンをMDMサーバへインストールする必要があります。

---

15

完了

【16】 「サーバ詳細」画面で [OK] をクリックします。

## サーバ詳細

---

サーバ名

名称を変更...

---

パブリックキー:

キーを置き換える...

---

サーバトークン:

 作成日: 2018/3/22

新規トークンを作成...

---

サーバを削除

OK

### 1.3.3 オフィスまるとサポートデバイスマネジメントへのアップロード

【17】「3.サーバートークンファイルの登録」の下に「ファイルを選択」をクリックします。

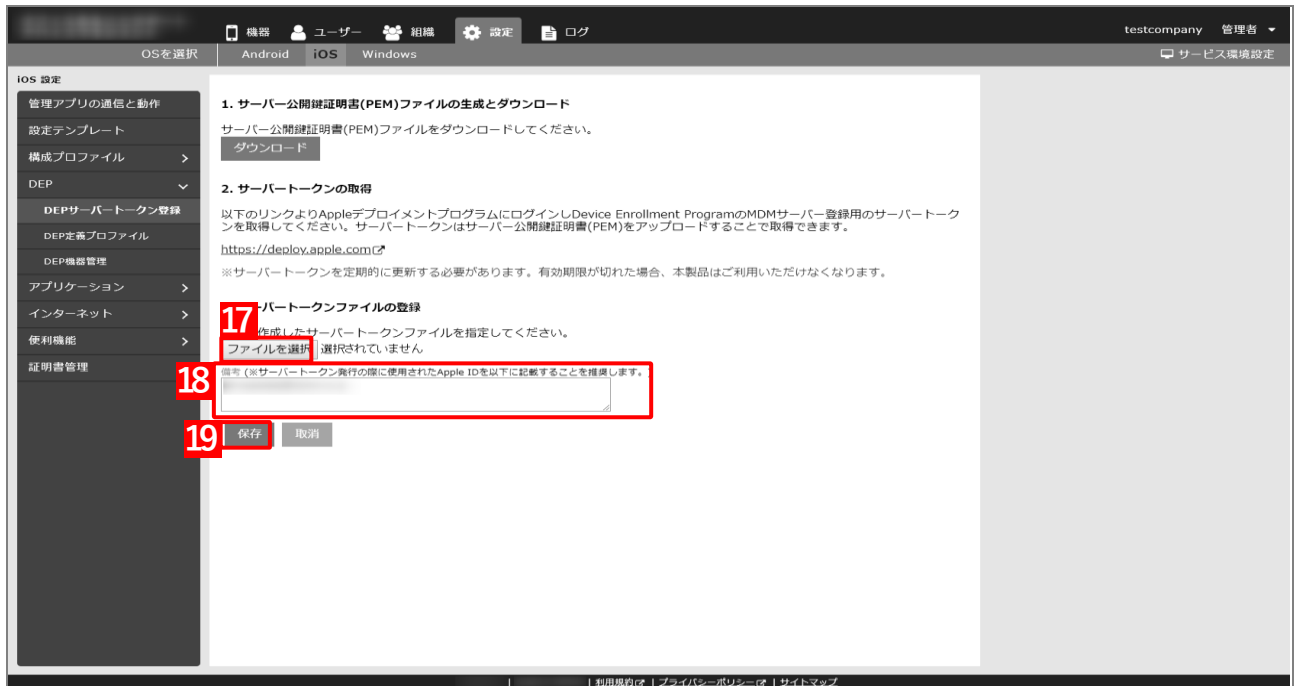
⇒手順【14】でダウンロードしたサーバートークンのファイルを選択します。

【18】必要に応じて、「備考」欄に Apple ID を登録します。（推奨）

☑トークンファイルの発行のときに使用された Apple ID は、大切に保管してください。  
トークンの更新（1年に1回）のときに必要となります。トークンの有効期限が切れた場合、本機能はご利用いただけなくなりますので、本画面の「備考」欄に Apple ID の登録を推奨します。

【19】「保存」をクリックします。

⇒管理サイトが DEP サービスにアカウント情報を要求し、認証が成功すると「DEP サーバートークン登録」の画面が更新されます。



【20】サーバートークンの有効期限が更新されていることを確認します。

